



AA日本ニュースレター

No.182

■メンバーシップサーベイ2016が完成しました。

B類常任理事 堀

メンバーシップサーベイ2016が昨年12月に完成いたしました。今回、初めて回答数が2,000人を超えました。想定されている日本のAAメンバー数は約6,000人ですので、おおよそ3分の1のメンバーが回答してくださっています。

このメンバーシップサーベイは、第1回が1997年に始まり、今回で7回目になりました。また、アンケートの内容、集計結果が固定化されて3回目です。メンバーにとって馴染みあるアンケートになったのではないのでしょうか？

AAグループには昨年12月に1部ずつお配りしています。ご利用の際はJSOまでご連絡くださればお送りします。また、ホームページにもアップいたします。AAのメンバー構成や特徴をまとめた内容となっていますので、AAメンバーだけでなく、関係者の皆様もどうぞ活用ください。

北海道セントラルオフィス(HCO)運営委員会は2014年から2年間、運営委員長候補者不在の事態に対応して、地域委員会と合併し「合同委員会」として活動をしていました。2016年からはそれぞれの委員会スタイルに戻し、現在はHCO運営委員長1名と運営委員2名の3名体制で、毎月1回HCO運営委員会と、年2回のオフィス委員会を開催しています。オフィスは職員1名と非常勤スタッフ2名、ボランティアメンバーたちの協力で日々のオフィス業務を行っています。

さて北海道地域では、2015年に北海道地域矯正・保護施設プレフォーラム、2016年には北海道で全国矯正施設フォーラムを開催しました。それに伴い、HCOも早い段階から地域委員会と連携し、資料の準備や関係機関からの問い合わせ対応等を行ってきました。フォーラム終了後には、地元の新聞に掲載され、各方面からの問い合わせや、矯正問題を抱えた当事者家族からの相談も複数ありました。また、アルコール啓発週間に関わる問い合わせや、資料請求等も増え、いつにもまして多忙な年となりました。

そして2017年は「北海道地域40周年」を迎えるため、記念集会等の準備も進行中です。**北海道地域40周年記念集会はラウンドアップと同時に2017年9月1日(金)、2日(土)、3日(日)に登別温泉**で開催することが決まりました。テーマは、「私たちの原点～AAと仲間」に感謝して～です！！全国のメンバーの皆様、多くのご参加をお待ちしています！！

一方オフィスの近況ですが、昨年11月にまさかの大雪が降り、例年よりかなり早い段階から、出退勤時に水道凍結防止のための水抜き・水出し作業が必須となっており、古い建物の宿命とはいえ、日々の業務に加え、スタッフたちの負担を生んでいます。

また、数年前に現職員から退職希望があり、新たな職員募集を続けながら、ボランティアメンバーからスタッフへの育成にも取り組みましたが、なかなか現実には難しく、後任探しは難航しています。

2016年春に職員募集のための小委員会を立ち上げ、募集方法・勤務形態・業務内容についての見直しが検討されました。運営委員会としても、今後オフィスをどのように運営・維持して行くのか検討を重ね、各グループとも話し合いながら良い方向へ進むよう努力の最中です。それまでの間はメンバーに助けられながら、日々のオフィス業務を維持して行けるよう続けていきたいと思っています。

最後に全国の皆様へこの場をお借りして一言…**私たちは本気で全国からHCO職員の募集をいたします!!**

今後、北海道の地へ転居を予定されている方や、HCO職員のお仕事に興味がある方…メンバー・関係者は問いません。やる気が一番、難しいことはありません!…興味のある方がいましたら、ぜひともご連絡下さいませ!!

■各地域からお便り

AA日本は現在、**北海道地域** 011-557-4329(北海道)、**東北地域** 022-276-5210(青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島)、**関東甲信越地域** 03-5957-3506(東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城、長野、新潟、山梨)、**中部北陸地域** 052-915-1602(愛知・静岡・三重・岐阜・石川・福井・富山)、**関西地域** 06-6536-0828(大阪、京都、滋賀、奈良、兵庫、和歌山)、**中四国地域** 082-246-8608(鳥取、島根、岡山、広島、香川、徳島、山口、高知、愛媛)、**九州沖縄地域** 099-248-0057(福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄)の7地域に分かれ、それぞれのセントラルオフィス(上述の電話番号)は、地元(ローカル)サービスを担うグループとグループの連携や、アルコール、その家族、関係者との交流や情報伝達の要として、また、毎日のミーティング情報等を正確に伝えるAAの最前線基地として、AAサービスの一翼を担ってきました。

もちろんすべて順調にきたわけではありませんが、それでもそれぞれの地域でAAの目的達成のために献身的なサービス活動を日々続けています。

前回「各地域からお便り」を掲載したニュースレター146号(2011年2月発行)から6年が経過しました。6年後の便りをどうぞご一読ください。以降、JSOに届いた順番で掲載します。

各セントラルオフィスの連絡先・営業時間等については、以下のホームページをご参照ください。
<http://aajapan.org/offices/>

北海道地域 「全国の皆様へこの場をお借りして一言」

北海道地域セントラルオフィス運営委員長 アキコ

この6年間で、どんな変化があったのか、考える機会をいただき感謝します。

九州地域 「AAの目的に立ち返り、皆様と共に歩んでゆきたい」

九州沖縄セントラルオフィス

桜島が目の前にそびえ立つ九州・沖縄セントラルオフィス(KOCO)は、今年1月に30年近くお世話になったセジュール祇園之洲203号から102号に移りました。これまでより広く光がたくさん入るオフィスで新しくスタートさせていただきました。

九州沖縄地域は8県(福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄)で、現在85のグループが活動しています。オフィスの業務としましては、窓口業務・書籍等の頒布と在庫管理・情報サービスの提供・住所録の管理・会計業務等があります。

前職員が2015年4月に退職し、昨年6月に新職員が赴任するまでの1年2ヶ月の間、オフィス委員長をはじめ、ボランティアスタッフ計6名でオフィスを支えてきました。問題はいろいろ山積みでしたし、地域や全国のメンバーの皆様にもご不便やご心配をおかけしながらも「自分たちで、何とかオフィスを立て直さなくては…」の一心で頑張ってきたのだと思います。もちろんそこには地域のメンバーをはじめ、皆様のご理解と忍耐があったことは言うまでもありません。その甲斐がありまして新職員が赴任した当初から協力体制がしっかり出来上がっており、皆で力を合わせて足りない所を補い合えるようになっていましたので、新職員は業務に入りやすかったと思います。現在は職員プラスボランティアスタッフ(約2名)と運営委員が、協力して業務に当たっております。各々の業務も共有できるようになっており、ダブルチェック(特に会計や、対外的文書、書籍頒布等)をするように心がけています。

毎月1回の運営委員会では、各自が業務上の疑問点、問題点、課題、気づいたこと等をざっくばらんに発言して、それについて皆で話し合いが行われます。オフィス委員会は年4回開催され、運営予算をはじめ運営委員会での懸案事項等が検討されます。まだまだ十分な体制ではありませんが、せっきゃくローカルのサービスをやらせていただけるのですから、「自分がしてほしいと思うことを他の人にしたかどうか？」というステップの精神をもって携わらせていただけたらと思います。

近年ITの充実に伴い、電話での問い合わせと同じぐらい、メールでのやり取りも日々あります。AAの情報も有り難いことに各地区の関連機関のインターネットのホームページ上に掲載していただいておりますが、情報の変更が多々あっても、それを関連機関までお伝えすることが出来ずに情報の相異が発生してしまい、せっきゃくAAを尋ねて下さった方が、ミーティングに辿り着けなかつたりしますと心が痛みます。その辺の問題は地域の皆さんと協力しながら、今後どうしているかを考えてゆけたらと思っています。

業務が忙しくなり混乱してしまうことも今もこれからもあると思いますが、そういう時こそ「今苦しんでいるアルコールにAAを伝える」というAAの目的に立ち返り、周囲の皆様と共に歩んでゆきたいと願っております。よろしくお祈りします。

中国四国地域 「AA中四国セントラルオフィスの現状報告」

オフィス委員会議長 川上

2015年4月よりオフィス委員会議長をさせていただいています。これまでの経過を書かせてもらいます。

2014年12月、オフィス委員登録4グループ、内、オフィス運営委員2名(地域内65グループ)で構成していました。オフィス委員登録が少ない状況は、過去にオフィスとのいざこざによるわだかまり、オフィス規約にオフィス委員登録の条件に地域登録(議決権を持つ)しているグループに限るという項目があり、人数の少ないグループ

にはオフィス委員登録は難しかったのではと思います。オフィス委員登録は地域登録グループの項目をはずし、過去のオフィスとのことは、お互いを感じていたことを話し合い、過去はいろいろあったが、今後は前向きな話をしようとなりました。2016年12月、オフィス委員登録9グループでわずかながら増えてきています。

オフィス運営委員会は2016年4月、オフィス委員の不足により一時休止と決まり、現在の活動は休止状態ですが、今後、再構築して活動を再開できたらと思います。

財政面は、累積赤字をラウンドアップの余剰金で補填(ほてん)している状況です。最悪の月は累計45万円以上の赤字、グループからの献金、書籍の売り上げ等ではまかなえず累計赤字が増えていく一方です。経費の削減、定期的に各グループへ献金のお願ひ文書を送付する等して、わずかながらも献金が増えていきます。

又、オフィス業務については、地域集会等での作業、職員の休日、ラウンドアップ・地域集会での書籍販売等、職員の業務、ボランティアの業務の見直しを行っています。

私は昔、広島に住んでいましたが、広島にいる頃はあまりに近すぎてかオフィスの必要性は考えませんでした。四国高松へ移ってから、地方の少人数のグループではオフィスがなければグループは情報の出入りがなくなり孤立してしまう。オフィスの必要性を感じました。まだまだ、問題は山積みですが、多くのグループにオフィスのことに関心を持っていただき、私たちがオフィスに対して何が出来るかをみんなで考え行動に移していけたらと思います。

中四国地域、各グループの方々、オフィス委員の登録よろしくお祈りします。 オフィス委員集會にオブザーバー参加も出来ます。

中部北陸地域 「2016年は重大な転換の1年になりました」

中部北陸セントラルオフィス委員会 内田

南向きの明るい部屋の窓から名古屋城や名駅ビル群を眺めることのできる当オフィスは、地下鉄黒川駅から徒歩、近隣に大小会議室を持つ総合庁舎もあるという利便性の良いオフィスビルの一室を借りて1989年10月に開設されました。2017年1月現在、愛知・静岡・三重・岐阜・石川・福井・富山の7県の44グループがオフィスを支えています。

昨年2016年は中部北陸セントラルオフィス(CHCO)にとって重大な転換の1年になりました。昨年末でオフィス運営委員会が解散し、現在はグループの良心を託された18名のオフィス委員と法人理事3名監事1名の22名でCHCOの事業運営に関わっています。昨年の初めに長年オフィスの職員をされた女性が「今年いっぱいオフィスを退職する」と表明をされました。さて、次期職員を募集する…と言うことになるのですが、決して簡単ではありませんでした。募集を続けているにも拘わらず、11月のオフィス集會の時にも次の職員が決まっていなかったのです。それでもオフィス委員会としては、オフィスの閉鎖を考えることはせずに今までいろいろなことをオフィス任せにしてきたけれど、自分たちでできることはやっつけていこうという強い意識を持ち、オフィス業務を一から見直すことから始めました。毎月のオフィスからの会計報告、ミーティング会場の案内、イベントのお知らせや各委員会の報告書の発送、苦しんでいる本人からの電話の対応、矯正・医療関係者との連絡等…オフィスのホームページの管理運営を行うホームページ部会、初めての方をサポートする12ステップコール部会、オフィスの実務援助をサポートするサービス部会、その3部会がそれまでCHCOの業務を支えてきましたが、新たに年間予算の計画・企画事業を進める財務企画部会を立ち上げました。

各部会に担当者を置き、今以上に連携協力をしていくことになりました。審議に審議を重ね、体制が何とか整いつつある時にハイヤー

パワーの配慮で12月になってようやく新職員が決まり、オフィス委員会に職員を迎えてCHCOの運営をやっていくことになりました。

新しい体制が整うまでの間、仲間との一体性を改めて感じる事ができ、良い経験をさせていただいたと心から感謝しています。

オフィス委員会は、年4回開催され、今年の7月に中部北陸の全グループを対象に「オフィスをどう使っていきますか？」という広いテーマで集会を開催することに決定しました。今後もオフィス委員会で毎回読み合わせているAAガイドライン『セントラルオフィス・インターグループオフィス』に沿った事業運営をしていく所存です。

長年オフィス職員をされた方の慰労会が12月末に開かれ、野崎前所長にもお越しいただき、他70余名のメンバーと共に今までのお礼を伝えることができました。

さて、CHCOの業務時間は、当分の間、(月)(水)(金)の週3日12:00～17:00となります。ご承知おきくださります様、よろしく願います。

東北地域 「ゆっくりとではありますが、変化を続けています」

東北セントラルオフィス運営委員長 伊藤

主な東北セントラルオフィス(TCO)業務は、窓口としての業務がメインとなります。アルコール本人や家族から、AAに助けを求める電話等の対応があります。私も震災の次の年あたりにボランティアをさせてもらって、電話対応もさせてもらいました。その時はミーティングの問い合わせが多かったのですが、最近は電話対応以外にもメールでの問い合わせ対応も多くなっています。あとは関係機関等からの問い合わせをいただき、広報メッセージ、講演等の受付、グループや担当委員会へ取り次ぎ、対応しています。

AAプログラムについての問い合わせもあります。「ステップとは何か?」とか「やめるにはどうしたらいいのか?」という質問をいただくこともあります。お酒の問題を何とかしたいという方には、AAメンバーを紹介させていただくこともあります。最近もそのようなことがありました。AAにはつながっていたのですが、中々お酒を手放せない方がいらっしやいました。その方からオフィスに、飲酒の問題を何とかしたいと連絡いただき、飲まない生活を長く送っているメンバーを紹介させていただきました。そうしたところ、今では飲まない生活を続けて、グループにつながり、元気になっているというとても良い姿を見させてもらいました。やはりこの病気は一人では回復は難しく、ただミーティングだけ通うだけでもいけないということを教えていただきました。

このようにアルコール依存症の方が助けを求めたときに、窓口となることが多いオフィスですが、ボランティアさんと準職員の尽力のお蔭で、何とか対応できている状態です。各COの中で、職員を雇えないのは東北セントラルオフィスのみとなっています。職員を雇えるだけの力はまだありません。ただ、お蔭様でグループからの献金は増えています。今は、職員を雇えない状態でオフィスの収支はかろうじて保たれていますが、職員を雇った状態で収支を保てるようになることが目標です。

話は変わり、東北のミーティングリストである『東北見聞録』ですが、こちらの発行は昨年編纂委員会が立ち上がり、編集・発行を担っております。ゆっくりとではありますが、東北セントラルオフィスは変化を続けています。この変化がいいものとなるよう努力し続け、支えてくださっている方々へ少しでも報いることができましたら幸いです。

関東甲信越地域 「信頼という絆」

関東甲信越セントラルオフィス監事 鈴木

山の手線大塚駅より徒歩数分、事務所前に夕陽に染まる都電荒

川線の緑の車体が通り抜けます。関東甲信越セントラルオフィス(KKCO)は来年25周年を迎えます。改めて「10周年記念誌」を読み返しました。関東甲信越で初めてのオフィス開設ゆえに、時にはメンバーの誤解もあり、先達の委員方々は足を運び、耳を傾け、思いを伝えてきました。オフィス開設準備委員会設立からの情熱とたいへんな苦労が紙面よりうかがえます。オフィス開設後1年の1994年末では126グループ、献金約640万、書籍頒布480万という記録があり、2016年末現在では262グループ、献金約1,200万余、書籍頒布約590万と大きく増加しています。グループの増加とともにその業務も拡大しており電話対応一日約50本以上、来客や書籍購入の対応、毎月発行している「かわらばん」1,350部の編集から製本発送作業、オフィス金銭管理まで多忙な日々を過ごしております。その業務数は117種にまで登り、日々の業務を2名の職員、3名の非常勤職員そしてボランティアが支えて下さっています。

法人化の話が進む中2010年11月会計のトラブルが発覚し、当時の運営委員たちは緊急に集まり議論し、事後の対応に奔走しました。同年12月緊急CO集会が開かれ、会場は怒号と疑念の空気で満たされ、一日無事に終われるのか緊張が続いたのを記憶しています。出来る限りの説明をし、良心を託された委員の中で全ての議論を続けました。会計の見直しと立て直し、透明化を目指し運営委員会は動き出しました。外部の会計事務所と契約し連携をとり、徐々にオフィスの財政は回復してきました。不正を許さない一元化されたパソコンによる会計システム、多くの出納を効率化するPOSシステム等の導入後、会計の透明化は安定しています。何よりなことはこの間から今日まで関東甲信越の多くのグループに変わらずに支えていただいていることです。

そして現在、財政面の意見の相違やコミュニケーション不足から運営委員会と職員の間でお互いに信頼が損なわれかねない件が起こっています。過去運営委員会を経験し現在もオフィス監事として関わらせていただき、今思うことは「信頼という絆」とは何だろうと。

だから互いに与えられた役割、任務に精一杯誠実に向き合っ行ってほしいと思う。「信頼あるからこそ相手にも忠実・誠実」でありたいと思う。また時には感情的になり対立したとしても、粘り強く対話し歩み寄りを忘れずに進んで行きたいと思う。謙虚さにわずかな光が差し込んだ時に初めて前進出来るのだ。

KKCOは多くの人に知っていただき、社会に対して多くの関係機関の窓口として機能しています。また内側の私たちメンバーにも欠かせない存在として成長してきました。そしてまだ苦しんでいる人たちにAAを知ってもらうのを手助けするという大きな使命を忘れてはならないと。

関西地域 「AA関西セントラルオフィスの現状紹介」

関西セントラルオフィス

関西ではAAの活動は1979年4月AA大阪インターグループ誕生に端を発し、1984年1月にAA関西セントラルオフィス(KCO)を設立し、関西地域のAA各グループによってオフィスが支えられ今日に至っています。2017年2月現在のグループ数は87、関西の特殊事情ではあるがグループにはまだなっていない”ミーティング”と称するものが12、女性ミーティングが14、英語4、ヤング1となっています。また、会場数は、一週間の延べ数164カ所です。6年前と比較して微増しているが、その多くが都市部に集中しているのが現状です。

KCOは、大阪市西区にあって、地下鉄各線から比較的アクセスしやすいマンションの一室にあります。

KCO運営は、毎月一回開催の運営委員会(委員長、財務担当、広報担当、セクレタリー、職員の5名)と年4回開催のオフィス集会(オフィス

